

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第152号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年3月25日 10時55分ごろ	
発生場所	岡山県水島港	
事故等調査の経過	平成21年5月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{クレシエンテ} CRECIENTE（香港）、77,655トン 8815463（IMO番号）、SCHULTE SHIPMANAGEMENT-HKG（船舶管理会社） B 引船 ^{かいおう} 海鳳丸、199トン 140180、日東タグ株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長、不詳 B 船長、四級海技士（航海） B 機関長、四級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船尾外板擦過傷 B 船尾外板擦過傷、Zペラ制御用電磁弁がスティック	
事故等の経過	A船は、水島港に入港作業中、B船は、A船の入港支援作業中、B船が操舵不能となり、平成21年3月25日10時55分ごろ、A船の右舷船尾とB船船尾とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風速 約3m/s	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし B船は、A船の入港支援作業中、Zペラ制御用電磁弁が固着して操舵不能となった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、水島港において、A船が入港作業中、B船がA船の入港支援作業中、B船のZペラ付電磁弁が固着して操舵不能となったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	